

## 56,000人のカード会員様とともに、 世界各地の環境保全プロジェクトを支援しました。

### コスモ・ザ・カード「エコ」の仕組み

コスモ・ザ・カード「エコ」基金は、入会時と次年度以降に毎年、お客様からいただく寄付金500円と、コスモ石油からの寄付金<sup>\*1</sup>をもとに運営されています。会員様の数は、2002年4月の発行から2003年3月末の1年間で、56,825人<sup>\*2</sup>になりました。

### 2002年度の活動概要と 2003年度の計画

2002年度は、会員様の寄付金約2,700万円、コスモ石油の寄付金約1,880万円を基金として、「熱帯雨林保全プロジェクト」や「国内希少自然プロジェクト」などを支援しました。さらに熱帯雨林保全プロジェクトに対しては、コスモ石油からの直接寄付として1,100万円の支援を行いました。

また、「南太平洋諸国支援プロジェクト」「棚田保全プロジェクト」については、2002年度は準備を進め、2003年度からの本格的支援を計画しています。

### 活動方針

コスモ・ザ・カード「エコ」は、「ずっと地球で暮らそう。」を合い言葉に、以下の視点でプロジェクトを選択し、極力私たちが現地に足を運び、その地域の皆様から生の声を聞き、NPOやNGOなどのパートナーとともに検討を行い、環境修復や保全を推進しています。

\*1:コスモ・ザ・カード「エコ」の売上に対して0.1%、コスモ・ザ・カードの売上に対して0.01%をコスモ石油が拠出する仕組みです。

\*2:2003年3月末ご入会ベース。御入会から引き落としまでの間に時間差があるため、入金ベースでは54,049名様となります。

1. 発展途上国での「環境の修復」と「環境保全」活動。
2. 日本国内での「環境の修復」と「環境保全」活動。
3. 次世代を担う子どもたちへの「環境教育・啓発」活動。

### 2002年度の活動概要 / 2003年度の計画

プロジェクト名	
1 途上国の環境修復・保全	熱帯雨林保全プロジェクト (パプアニューギニア)
	(ソロモン諸島)
	南太平洋諸国支援プロジェクト
2 国内の環境修復・保全	シルクロード緑化プロジェクト
	循環型農業支援プロジェクト
3 環境教育・啓発	国内希少自然保全プロジェクト
	棚田保全プロジェクト

## 収入

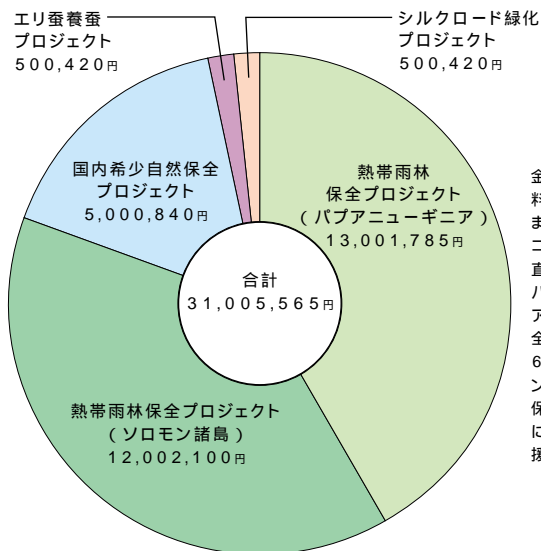
摘要	金額
カード会員拠出金	27,074,500円
コスモ石油拠出金*	18,875,341円
預金利息	62円
合計	45,949,903円

\*内訳は2002年度の  
コスモ・ザ・カード「エコ」の  
売上×0.1%=5,249,261円と、  
コスモ・ザ・カード  
×0.01%=13,626,080円  
の合計です。

## 繰越金

摘要	金額
収入	45,949,903円
支出	31,005,565円
2002年度繰越金	14,944,338円

## 支出



金額には振込手数料が含まれています。また、左記以外に、コスモ石油からの直接寄付として、パプアニューギニアの熱帯雨林保全プロジェクトに600万円、ソロモン諸島の熱帯雨林保全プロジェクトに500万円の支援を行いました。

## 2002年度の活動概要

稲作の普及に向けて、精米機を3カ所に寄贈しました。

有機農業研修センターを建設中で、アクセスロードとボカシ(有機肥料)小屋がほぼ完成しました。

この地域を支援する日本のNPOなどが存在しないため、現地パートナーの選定を行いました。

周の文王・武王の陵周辺、秦の威陽王宮跡に植林を行いました。

循環型農業の展開に向けて、キャッサバの葉を活用する「エリ蚕(さん)」「エリ蚕(さん)養蚕」技術の普及を継続支援します。養蚕」技術の講習会を開催し、繭の生産を拡大しました。

富士山・山梨県側の2カ所(1合目 紅葉、5合目 佐藤小屋)にエコトイレを寄贈しました。

2003年度の活動に向けたトライアルとして、会員の皆様を対象にコスモ石油主催で「エコキャンプ」を実施しました。

## 2003年度の計画

農業技術の普及を継続支援します。精米機を1カ所に寄贈する予定です。

有機農業研修センターの建設を完了します。農業技術指導者の育成とともに、循環型農業のモデルビレッジを目指します。

井戸水の海水化に対して、飲料水を確保するための雨水貯蔵タンクを寄贈します。

西安建築技術大学の学生と一般市民による植林活動を実施します。

青森県と秋田県にまたがる世界遺産「白神山地」にエコトイレを寄贈します。また、富士山と白神山地で、野口健さんの自然学校を実施します。

都市部の小学校教育の一環として、農業体験、自然体験、地元の方々や小学校との交流などを支援します。